

## 後輩たち（部員40人）へ竹バットを贈ろう プロジェクト2018

主催 高商倶楽部東京支部プロジェクトチーム

北條 堀 福光 須田 熊田 山川 大森 三嶋

拝啓、晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

一日一日と寒くなってきましたがお元気で過ごしてでしょうか。

平素は、高松商業野球部OB会東京、紫雲会東京とお世話になっており感謝申し上げます。

また、本年1月の高商倶楽部新年会にて「後輩たちへボールを贈ろうプロジェクト」に多大なご協力を頂き感謝申し上げます。大先輩の杉ノ内さん（S28年卒）をはじめ、高松商業野球部の礎を築いてこられた諸先輩、後輩の方々に厚くお礼申し上げます。

さて、本日は表題に大きく書かせて頂きました「後輩たちへ竹バットを贈ろう」プロジェクト2018を本年10月25日に事務局スタッフミーティングに於いて、東京支部から第二弾プロジェクトを発足させることになりました。

今秋の四国大会は準決勝で敗れましたが、高知明德義塾高が明治神宮大会に於いて、見事優勝。

よって四国地区に3+1枠増え、我が高松商業が来春第90回記念選抜大会への切符、当確ラインまで達して来ました。来年1月26日（金）に決まります。（新年会予定日）

是非出場をOBとして祈念しましょう。（お正月の願掛けに加えてください）

また、竹バットを贈る目的は、冬季に監督自ら竹バットを選手の数分購入して一冬で消耗するまでとことん練習させているとのこと。伝統を継承することの大変さを痛感しました。我々OB東京支部が少しでも援助出来るならと事務局スタッフで話し合い決定致しました。今冬の練習に間に合わす為、皆さんへご協力をお願いをする前に先行発注しました。

竹バットは11月14日に香川県のバット製造会社へ40本発注いたしました。通常約900グラムのバットを1キロ以上に製作依頼しております。1本約7,000円税別です。ご協賛方法は、別紙にてご案内致します。

是非ご協賛をお願い致します。

皆さんのお気持ちが「ここで1本ヒットが欲しいときに伝わることと思います」。

来春の選抜大会、そして夏の第100回記念選手権大会でTAKAMATSUのユニフォームが躍動することを願いたいものです。公立高校唯一4大会優勝校として伝統を継続してくれている後輩たちへ願いを託したいと思います。

来春の選抜大会 アルプススタンドで共に応援しましょう。

敬具

平成29年11月20日

文責 54年卒 堀 眞英（旧雅一）